

シンポジウム：「建築物の長寿命化を考える」開催のご案内

主催：NPO法人 建築技術支援協会 (<http://www.psats.or.jp/> Tel：03-5689-2911)

後援：(社) 日本建築構造技術者協会 (JSCA)

助成：(財) 建築技術教育普及センター

開催趣旨：現在、政府主導の下に建物の長寿命化への様々な手段が推進されている。地球環境にやさしい建物、用途変更を伴う建物の維持再生、地震災害への対策としての耐震改修工事の推進の他、歴史的建築物の保存に関する施策もある。その一方で建設後4、50年を経過し、耐震構造規準の改定や設備機器の更新の他、その不動産の経済的価値の低減評価から解体されるケースも目立っている。これらの問題を「建物の長寿命化に対する課題」と捉え、都市を構成する建築文化をどう守り発展させるかとの視点から、広く各専門家の見解をお聞きし、関係の皆様と共にその方向を考えたい。

参加費： 無料、資料代 500円

第一回 「建築物の長寿命化 － 建築機能の再生・向上を目指して」(終了しました)

日時：平成23年2月24日(木) 13:15～17:00 (以後会場建物見学)

会場：3331Arts Chiyoda 東京都千代田区外神田6丁目11-14 (東京メトロ末広町下車5分)

- 基調講演： 松村秀一 東京大学教授 建築技術支援協会代表理事 13:15～13:55
－長寿命を維持している建物によって構成される都市の創造、長寿命化への視点－
- 講演： 杉山義孝 日本建築防災協会 専務理事 13:55～14:35
－ストック社会における課題－
- 休憩 10分
- 岡部明子 千葉大学大学院工学研究科准教授 14:45～15:25
－街の空洞化を再生する 館山に於ける試みを例に－
- 清水義次 3331 Arts Chiyoda マネージメントディレクター 15:25～16:05
－コンバージョンによる建築機能復活、再生を通じて地域活性化への提案－
- パネルディスカッション (PD), まとめ 16:05～17:00
閉会后、3331 Arts Chiyoda 見学会 (自由参加)

第二回 「建築物の長寿命化 － これからの耐震改修・設備機能の回復と資産価値向上」

日時：平成23年3月17日(木) 13:15～17:00

会場：文京学院大学 D館スカイホール (東京メトロ東大前駅北口下車5分)

- 基調講演： 和田 章 東京工業大学教授 建築技術支援協会代表理事 13:15～13:45
－耐震改修等、構造強度再生への新しい取り組み方－
- 講演： 金箱温春 金箱構造設計事務所代表 13:45～14:10
－耐震改修の事例、これからの耐震改修－
- 古橋昭男 建築技術支援協会会員 14:10～14:35
－集合住宅耐震改修による資産価値向上の事例－
- 下田邦雄 建築技術支援協会会員 14:35～15:00
－集合住宅における設備機能の改善・リノベーション－
- 休憩 10分
- 青木 茂 首都大学東京戦略研究センター教授 15:10～15:35
－リファイニング建築について－
- 小松幸夫 早稲田大学教授 15:35～16:00
－社会資産としての不動産価値とその寿命を考える－
- パネルディスカッション (PD), まとめ 16:00～17:00

◆当シンポジウムは建築CPD情報提供認定プログラムです。また、(社)日本建築構造技術者協会のJSCA建築構造士登録更新のための評価対象シンポジウム(予定)です。

[参加申込み](#)